

《企業紹介》

同社はベトナムにおいてパソコン、スマートフォン、オフィス機器等の ICT（情報通信技術）関連端末の流通・卸売事業を展開する企業である。ベトナム全土に販売代理店ネットワークを有し、世界的なテクノロジーブランド（アップル、シャオミ、レノボ、リコー、富士ゼロックスなど）の正規販売代理店となっている。同社の強みは 1997 年の創業以来、単なる卸売業者にとどまらずマーケット・イクスパンジョン・サービスの提供を手掛けてきたことにある。マーケット・イクスパンジョン・サービスとは、ベトナム市場へ進出する際の新規顧客獲得や流通ネットワーク構築をサポートするサービスであり、同社はその実績から米国アップル社を含む多くの海外トップブランドから高い評価を得ているようだ。

《2023 年 7－9 月期業績》

2023 年 7－9 月期の売上高は前年同期比 10.8%減の 5.4 兆 VND（ベトナムドン）だった。事業部門別の動向は以下のとおりである。ラップトップ PC・タブレット事業の売上高は同 2.4%減の 2.3 兆 VND となった。9 月のベトナムの新学期に向けた在庫積み増しが一巡したうえ、実需は期待ほどではなかったようである。携帯電話事業の売上高は同 26.1%減の 1.7 兆 VND となった。需要の不振に加え、10－12 月期のアップル社の新製品発売前の買い控えも影響した模様である。オフィス機器等事業の売上高は同 0.1%減の 9,070 億 VND となっている。オフィス機器の売上高は低迷したが、アチソン社（工事現場などで使用される安全器具、機械工具、各種業務用消耗品の販売会社で、ベトナムにおける 3M やハネウェルなどの正規販売代理店）の買収効果によって前年同期並みの水準を維持した。家電製品の売上高は需要低迷を受けて同 20.5%減の 1,630 億 VND となった。消費財事業の売上高は新規に取り扱いを開始した飲料の貢献によって同 77.1%増の 1,700 億 VND と大幅な増収となっている。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2022年7-9月期		2022年10-12月期		2023年1-3月期		2023年4-6月期		2023年7-9月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	6,065.2	58.6	4,075.1	-48.6	3,959.9	-43.5	4,595.8	-6.4	5,412.8	-10.8
ラップトップPC・タブレット	2,457.0	32.5	1,199.0	-64.1	1,094.0	-51.4	1,342.0	18.8	2,398.0	-2.4
携帯電話	2,399.0	73.7	1,777.0	-49.2	1,899.0	-51.1	2,190.0	-19.0	1,774.0	-26.1
オフィス機器等	908.0	94.4	794.0	-20.0	682.0	-8.1	728.0	-16.9	907.0	-0.1
家電製品	205.0	-	-	-	165.0	157.8	166.0	54.0	163.0	-20.5
消費財	96.0	-22.0	316.0	239.8	120.0	69.0	170.0	82.8	170.0	77.1
粗利益	406.0	48.2	469.8	-23.3	260.7	-44.1	393.0	22.7	384.8	-5.2
粗利益率(%)	6.7	-0.5%p	11.5	+3.8%p	6.6	-0.1%p	8.6	+2.1%p	7.1	+0.4%p
金融費用(マイナスは収入)	-8.1	-	5.6	-	-10.4	-	0.6	-	-8.3	-
販売費	149.6	-1.0	223.2	5.4	118.4	-49.0	241.7	106.5	212.9	42.4
一般管理費	38.0	41.9	40.2	-2.7	45.5	84.3	40.0	21.7	48.9	28.9
営業利益	227.4	69.2	200.0	-50.9	105.0	-60.5	113.4	-35.1	131.1	-42.3
税前利益	226.9	69.1	197.5	-51.5	106.6	-59.8	111.9	-35.3	133.8	-41.0
税引後利益	180.3	68.2	155.8	-52.4	79.4	-62.3	83.0	-39.4	102.4	-43.2

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20231109

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

デジワールド(DGW)



営業利益は同 42.3%減の 1,311 億 VND となった。粗利益率が同 0.4%ポイント上昇したため、粗利益は同 5.2%減の 3,848 億 VND となったが、販売費が同 42.4%増の 2,129 億 VND、管理費が同 28.9%増の 489 億 VND となったため大幅な減益となっている。税引後利益は同 43.2%減の 1,024 億 VND となった。

同社は 2023 年 12 月期の売上高を前期比 9.3%減の 20.0 兆 VND、税引後利益を同 41.5%減の 4,000 億 VND としている。1-9 月累計実績の進捗率は売上高が 70%、税引後利益 66%となっており、計画達成のために 10-12 月期の売上高は同 48.0%増の 6.0 兆 VND、税引後利益は同 13.2%減の 1,350 億 VND が必要となるが、足元の状況から計画達成は不透明な状況といえよう。

《株価の推移》

同社の株価と VN 指数を 2022 年末の終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価は 6 月から騰勢を強め、足元ではアウトパフォームに転じているが、10 月中旬以降は急落しており、アウトパフォームの程度は顕著に縮小している。11 月 8 日時点で VN 指数は 2022 年末比 11%の上昇となっているのに対し、同社は同 33%の上昇となっている。また、11 月 8 日終値 50,100VND で計算した時価総額は 8.3 兆 VND で、2022 年 12 月期実績の税引後利益 6,838 億 VND の 12 倍の水準となっている。

4-6 月期決算までは情報機器関連の販売不振が和らぎ、厳しい経済状況下で新たな消費財の分野で売上高を伸ばしていることから業績回復期待が高まっていたが、7-9 月期決算では主力商品である情報機器の需要低迷が続いているうえ、新規に取り組んでいる家電製品も成長が止まっていることが観測されており、業績回復期待が剥落したことが株価パフォーマンスに影響したようだ。一方、足元の業績低迷は主に事業環境悪化が要因であり、同社のマーケット・イクスパンション・サービスの劣化によるものではないと考えられ。同社の業績が事業環境の変化に応じて再び拡大する可能性にも留意する必要があるだろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20231109

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。